



病児保育は子育てファミリーの
新しいライフラインです

NO.19
2007年6月4日



報道関係者各位

東京都中央区新川2-5-1 PSA305
特定非営利活動法人 フローレンス
担当: 中村 03 - 3206 - 2604
info@florence.or.jp

病児保育NPO、(株)リクルートに病児保育サポート開始 ～ワークライフバランス＝経営戦略の時代へ～

東京都内にて病児保育を展開しているNPO法人フローレンス(東京都中央区・代表 駒崎弘樹)は、(株)リクルート(東京都中央区、代表取締役社長: 柏木 齊)は、と法人契約し、同社に勤める子育て中の社員に07年6月より「100%出勤保証! 病児保育サポート」を提供することを決定した。

働く親の最も悩むことは子どもが急に熱を出したとき。熱が出ると保育園では預かってくれないという現実とは裏腹に、病児保育施設は全国に600弱程度のため、子育てを仕事の両立を阻む象徴的な問題。そこでNPO法人フローレンスは、地域の子育てベテランママや小児科と力を合わせ、全く新しい地域密着型病児保育の仕組みを、全国で初めて事業化した。

病児保育への取り組みが社会的に遅れている中、(株)リクルートでは、社員の仕事と子育ての両立をサポートすべく、同社の子育て中従業員に対して病児保育サポート導入を決定。仕事をしている父母に代わって病児を預かってくれるサポートを導入することにより、保育園からの急な呼び出しに仕事を中断させて駆けつけることも避けられ、またどうしても休めない会議や商談がある場合にも仕事を休まなくて済むようになる。本来ならば子どもが病気の時は親が看れることが望ましいが、周囲に迷惑をかけてしまい困っているという声の多い現状では、こういった働きやすい環境を会社側で用意する必要がある。費用面でも、入会金などを会社側で負担してくれることも従業員にとっては非常に大きい。

また、仕事と私生活のベストバランスこそが双方に相乗効果を生むことができるという「ワークライフバランス」という考え方が注目されてきている。欧米などでは、仕事における生産性や質の向上を目的に、社員の私生活をサポートすることを優秀な社員を確保する経営戦略として積極的に導入されている。日本では化粧品やヘルスケアなど商品・サービスが女性向けの企業で広がりつつあるが、まだまだ不十分だ。多くの起業家を輩出してきた(株)リクルートのようなオピニオンリーダー企業の取り組みによって、他社にワークライフバランスの波が広がっていくことが十分期待される。

NPO法人フローレンスとは
仕事と子育ての両立を阻む「病児保育問題」を解決し、
「子育てと仕事そして自己実現の全てに誰もが挑戦できる、しなやかで躍動的な社会」を目指し発足。
現在、東京都内12区に展開しており、会員約250世帯に病児保育サービスを提供している。

特定非営利活動法人フローレンス

<http://www.florence.or.jp>